

令和3年度沖縄国際物流拠点等活用推進事業の成果概要

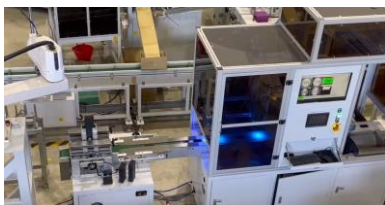
事業実施主体	タイガーグローバル株式会社
プロジェクト名	製造拠点の県内回帰により新たな樹脂成形品（ポリカーボネート）の移出拡大事業
事業内容	ポリカ専用成形機(能力180トン)の設置によるポリカの既存製品・新製品の製造、及び射出成形された製品の良品、不良品を仕分けする検品装置、検出後の製品の包装・梱包・払出しの自動化設備の設置
今後の計画	<p>2023年度</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・既存のポリカ製品については製品の仕様変更(市場の要求)により、新たな規格の量産に向けて試作中。加えてポリカ新製品の設計中。</li><li>・検品・包装・梱包を行うための試運転調整並びにオペレーター教育を実施中。</li></ul> <p>2024年度</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ポリカ製品</li><li>県内50万円/県外300万円（合計350万円）（4,375kg）を予定。</li></ul> <p>2025年度</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ポリカ製品</li><li>県内100万円/県外1,000万円（合計1,100万円）（13,750kg）を予定。</li></ul>
最終目標と現状	<p>最終目標</p> <ul style="list-style-type: none"><li>①2027年度までに、県内・県外市場40 t（売上金額3,200万円）目標とする。</li><li>②ポリカーボネートの再生材の資源化により、低コストの製品を提供できるようにする。</li></ul>
補助事業の効果	<ul style="list-style-type: none"><li>①自動検品装置によりポリカ製品の不良品の発生を抑える効果の確認ができた。</li><li>②自動包装梱包装置により生産性の向上、人手の削減が実現</li></ul>



上部：試作中の連結型のポリカ製品  
下部：仕様変更前のポリカ製品



製品開発案件の一例



自動検品・包装・梱包ライン稼働状況写真